

船舶事故等調査報告書

平成21年11月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第127号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年3月3日 04時45分ごろ	
発生場所	愛媛県松山港外港2号防波堤灯台から真方位274° 1.55海里付近 (概位 北緯33° 52.1′ 東経131° 40.2′)	
事故等調査の経過	平成21年5月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	油送船 第二 ^{しゅうか} 秀華丸、498トン	
船舶番号、船舶所有者等	140723、岩井海運有限会社	
乗組員等に関する情報	船長 三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	プロペラに曲損及び欠損、船底外板に擦過傷及び凹損	
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、船首約1.5m、船尾約3.2mの喫水で、松山市興居島南岸沖を西進中、平成21年3月3日04時45分ごろ、興居島南岸沖の浅所に船底が接触した。	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 北東、風力 2 海象：潮汐 下げ潮の末期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 船長は、手動操舵から自動操舵へ切り換えた際、操舵切換レバーの位置及び針路の確認を行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が興居島南岸沖を西進中、操舵切換レバーの位置及び針路の確認を行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	